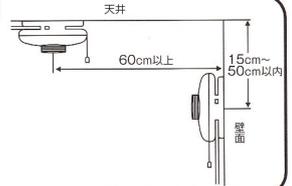


住宅用火災警報器の設置場所

天井設置と壁面設置

警報器は天井中央付近につけます。壁から60cm以上は離しましょう。壁面に設置する場合は、天井から15～50cm以内に取付けましょう。



寝室

すべての寝室に設置が必要です。

階段

階段を上ったところの天井に設置しましょう。できれば、廊下の天井にも。

台所

義務ではありませんが、設置が望まれます。火災以外の煙を感知する恐れがあるため、「熱式」の警報器をつけるのがよいでしょう。ガス漏れ感知機能をもった複合型警報器もあります。